

富山県富山市 有限会社グリーンパワーなのはな

- 作業の標準化を進め、効率的に作業を行うことで残業時間の短縮を実現。
- 若手従業員を班長や主任として任用することで、責任者としての自覚や作業能力の向上につなげた。

(有)グリーンパワーなのはなの概要

【所在地】富山県富山市水橋上桜木107番地

【ホームページ】<http://gp-naonhana.com>

【事業内容】水稲、大豆中心の農地全面受託

【経営面積】水稲246ha、大豆7ha等

総受託面積401ha(2019年現在)

【従業員数】正社員18人、契約社員21人



人材の定着に向けた取組内容

【取組を行うことになった背景】

農繁期の残業は平日で2.5～3時間が常態化し、休暇も取りにくい状況であった。

【取組内容】

- (1)作業進捗の管理方式を変え、段取り作業時間を削減し 残業時間を短縮する。
- (2)入社4年目以降を目途に職場リーダーに任用、進捗管理の責任者とする。
- (3)農閑期(冬期)に年次有給休暇を連続5日取得する制度を実施。

【取組の成果】

- (1)紙媒体の地図に作業完了の印をつけることで作業進捗を共有。翌日の段取り業務にかかる時間を減らし、農繁期の多い人で1.5時間程度の残業におさえることができた。また、5月の連休にも交代で1日程度の休暇がとれるようになった。
- (2)年齢・適性を見ながら研修2年目(当時)の2名と研修1年目(同)の1名を班長(6～7名の作業班の職長として作業進捗・人員の管理を担当)として任用。また、研修終了後(25歳、同)の1名を主任(作業班の取りまとめ、班外の調整も担当)として任用。職場の取りまとめを通して自身の作業能力向上や管理者としての技能を習得中。
- (3)農閑期(冬期)に全員が年次有給休暇に土日祝日をからめた9～10連休を取得。

【従業員の評価】

残業が減り 休暇が増えたことは大きく評価されている。また、班長・主任への役職への任用は本人や後進の仕事への大きな動機付けになる。

【今後の目標】

作業の標準化を目指し作業手順の整備を進めていきたい。作業手順作成業務を通じて業務の見直し～効率化を図ることを併せて目論む。